

# 相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

# 44号

## 2012.5.12 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

## INDEX

【本号掲載分の活動】

1月28日(土)… シイタケ駒菌打ち&柴刈り / 定例活動

2月25日(土)… アカマツ林再生プロジェクト / 定例活動

3月24日(土)… 第14回萌木祭り (トンボ池の橋の架け替え) / 定例活動

4月28日(土)… 2012年度総会&竹林整備 / 定例活動

1月定例活動

## シイタケ駒菌打ち&柴刈り



急に冬らしく寒くなってきた1月28日(土)、もりのフィールドサーキットの最終回、オアシスの森くらぶが担当するシイタケの菌

打ち体験が行われました。

例年人気殺到で参加者も多いと予想し、11月からカシナガの被害にあった大木の伐倒作業を行い、40本近いほだ木を用意していました。

しかし、蓋を開けてみれば、参加者は計15名。ならば例年一家族に一本のほだ木を一人一本で奮発し作業開始。ドリルがコナラの木を削る音が森に響き、子どもたちはゴムハンマーで駒菌を打ち込むのに夢中。あっという間にシイタケの原木が完成しました。シイタケが出来るのはふた夏経過した秋以降ということで気の長い栽培です。一方、今年初めて畑に播いた大

根が収穫の時期を迎え、本日の参加者に大根抜きの体験をしてもらいました。こちらも一人一本の大サービス。里山の管理活動はきつい作業が多いのですが、本日は楽しくて獲物の多い楽しい一日となりました。参加の皆さま、お疲れさまでした。(大館)



▲大根抜きを楽しむ子どもたち

## 1月活動「柴刈り」について

ゴールデンウィーク間近の4月下旬、メールで突然の原稿依頼?! 齢のせい、当日参加したかどうか記憶が定かでなく…。というわけで、今回は活動報告ではなく、森の手入れについて少しまとめてみることにします。

① 切ったら1本の木(竹)、責任を持って片付ける

伐るのは面白いが、片付けるのはメンドウはだめ。まずは伐った木(竹)の堆積場所を決める。そして枝下ろしと寸切り。堆積場所は数か所に分けて作ったり、急な斜面地に水道をふさぐ意味で等高

線にそって積むのも良いかな。

② 伐る時期、タイミングを考える

3月から6月ごろまでは、さまざまな野鳥が子育て中であり、藪の手入れなどを行う際は注意を要する。人が近づくだけで、巣を放棄してしまう事もあり。また、貴重な野草や樹木がある場合もありますよ。

③ 広域に散らばりすぎないこと

人1人の力は限られているが、集まればそれなりの成果がある。達成感を得るためにもその日の作業の成果が目に見える程度の広さで作業をやるのが大切。ただ、あまり狭いと事故につながるので、



▲見晴らしの丘での柴刈り作業のようす

リーダーはそのあたりに気をつけるべし。

…なんちゃって、偉そうなことを言いましたが、やはり無理をせず、マイペースが大切。いいかげん、いいかげんで余裕を持って森づくりを楽しみましょうね。(小池)

2月定例活動

## アカマツ林再生プロジェクト



「アカマツ林再生プロジェクト」は、オアシスの森の西側尾根部“散策エリア”約1,500㎡を対象に、アカマツ林を再生しようというもので、今年で実に12年目となる活動です。これまでの管理作業で、アカマツ林再生の障害となっていた高中低木の除伐、林床の落ち葉や枝、腐葉土の除去を進め、アカマツの苗木を育ててきました。11

年前に芽を出した稚樹が、今では写真（右下）のように1.5m以上の幼樹に成長しています。

この日の作業は、アカマツの幼樹の日照障害となる密集した灌木を除伐、林床の腐葉土や枯れ木とともに林外に運び出すものです。森くらぶ10人による午前中だけの作業でしたが、アカマツの幼樹も光をいっぱい浴びられるようになり、今年も元気に成長できそうです。

かつてはどこの里山の尾根でも

普通に見られたアカマツ林。今では明るく、乾燥し、貧栄養な樹林環境が少なくなっており、このような地道な作業なしでは守れない貴重な植生となっていました。



▲2002年8月。実生更新した当時のアカマツの稚樹



▲母樹の下、11年の歳月をかけて再生したアカマツの幼樹

3月定例活動

## 第14回萌木祭り

(トンボ池の橋の架け替え)



前日からの雨も朝にはあがり、予定していた橋の架け替え工事も決行できると喜んでいたら、雲行きが怪しくなり家を出るところには結構な雨模様となってしまいました。それでも集合時間の10時を迎えるころには、10名を超える会員が集まり、雨の弱まるのを待ちながら傘を差しての立ち話。10時半を迎えるころには運よく雨も小止みに

なり、「オアシス土木」の工事着手となりました。

本日の工事予定は、懸案になっていたトンボ池へ渡る橋の架け替え工事です。この橋は10年を超える風雨にさらされ橋桁が腐朽し、歩くとフワフワと少し危険な状態になってきていました。天白土木さんに頼んで橋の桁材として使う枕木5本、長さ2400mm広軌の軌道用の枕木を用意してもらいました。

かなり重い材料のため、皆で協力して野浪さんの軽トラに積んで現場まで移動します。まずは、古い橋の撤去です。腐朽しているとはいえ、大ネジで台木に固定してある部分はかなりしっかりしており、ツルハシで一本ずつネジの部分を壊しながらの撤去作業です。続いて橋の基礎となる枕木の設置です。ここでは野浪さんお手製のピニールホースを利用した水準器が大活躍です。兩岸の基礎ができたら、いよいよ橋桁の架け渡しです。4

人ほどで1本ずつ慎重に作業します。微妙に違う枕木の厚みに配慮して何度も並べ替えをして完成です。すばらしい出来栄えに歓声が上がリ、作業員一同が並んでの完成写真となりました。



作業の後は、皆でお疲れ様の竹炭による炭焼き慰労会となりました。期待していた原木しいたけは何故か？ほぼ全滅で、買って来た食材で味噌田楽、竹卵焼き、ウインナ焼きなどを楽しみました。少しアルコールも入って一年の定例活動のお開きとなりました。皆様一年間の活動お疲れ様でした。（大館）

4月定例活動

## 2012年度総会&竹林整備



とても穏やかな陽気の中、朝から約20名のメンバーが集まり、まずは竹林整備などに気持ちの良い汗を流しました。



▲補修後の竹柵 (相生口周辺)

午前中は、相生口周辺とトンボ池周辺の二班に分かれての作業です。

相生口班は主に古くなった竹柵の補修を行い、トンボ池班はヤマザクラ周辺の竹の除伐に取り組みました。

ところで、今年はタケノコの出るのが遅く、盗掘の被害も少なかったようで、この日、いっぱいタケノコと出会いました。午前の作業を終え、炭焼き広場に戻ると、タケノコの焼ける芳ばしい香りが…実はもう一班、女性陣を中心に調理班が組まれており、焼きタケノコと焼きシイタケ（もちろん両方とも相生山産の超新鮮食材！）が、腹ペコの私たちを出迎えてくれたのでした。



▲ホクホクの焼きタケノコ（美味なのは言うまでもない）

そして午後は、トンボ池班が残作業に取り掛かる一方、残るメンバーは、3月に引き続き「オアシ

ス土木」の作業員となりました。課せられた業務は、昨年12月に行った小屋裏の平場づくりの第2期工事で、今回は平場の拡張と排水路の設置が使命です。人力作業はなかなか骨の折れるものでしたが、タケノコとシイタケから得られたエネルギーのおかげもあって、1時間ほどでほぼ目標の形が出来上がりました。



▲「オアシス土木」の作業風景

2時半を過ぎ、トンボ池班が戻ったところで、ウッドデッキで総会が始まりました。例年通り、昨年度の活動報告、会計報告があり、本年度の活動予定と予算について承認されました。また、役員選任では、早川さんが運営委員長に就任されました。早川さん、よろしくお願ひします。（近藤）

## シリーズ『森の住人たち』③〇

### ～シロシタホタルガ（幼虫）～



▲サワフタギの葉を食むシロシタホタルガの幼虫

「わ～、すごい！カラフルな虫がいるよ～」  
「ほんと！ かわいいね～」

葉上の幼虫を発見した観察会参加者の会話である。

幼虫は、全体が黒色で背面にはクリーム色の紋がふたつずつ、側面には赤い隆

起が並ぶ。また背面と側面の中間には、小さくて丸い空色の点がある。自然界の配色の妙に感嘆だ。

シロシタホタルガの幼虫は、その色目のかわいらしさから、思わず触れたくなる。しかし幼虫の体液には毒性があるので、うっかり触れようものならば皮膚炎を起こしてしまうことがあるので要注意。

サワフタギの葉上に、幼虫が観察できたのは、その葉がシロシタホタルガの好物であるからだ。柔らかな黄緑色の葉は、いかにも美味なる色。勢いよく食事をしているのが理解できる。

やがて幼虫は葉を巻いてサナギとなり、

シロシタホタルガ（白下螢蛾）マダラガ科  
体長 2.5～3cm  
成虫出現期 6～7月と9月頃。  
分布 日本全国の平地から山地  
食樹 サワフタギ

6～7月頃には成虫となる。ガは夜間に活動するものが多い。しかしシロシタホタルガは昼間に活動にひらひらと飛ぶのがよく観察される。

名前の由来は、全身が黒くて頭部だけが赤い体色がホタルを連想させるためである。シロシタホタルガ（白下螢蛾）のシロシタは、成虫の後翅の基半後が白色であることによる。

幼虫は、大半の女性にとって逃げ出したくなるものである。しかしシロシタホタルガは、その色目から「ブローチにしたい」という声が多い。かわいらしさは、苦手意識を超越する！？

（文責 自然案内人 近藤 記巴子）

# Schedule

【2012年度活動予定】

☆：定例活動 ★：特別活動

特記以外は 炭焼き広場 10:00集合

●：運営委員会 [第2土曜 午後13:30～ 相生小学校研修室]

☆5月26日(土) 竹林の整備&小屋周辺整備

●6月9日(土) 運営委員会

☆6月23日(土) トンボ池周辺整備&竹林整備

●7月14日(土) 運営委員会

☆7月28日(土) 夏の収穫祭&小屋周辺整備

●8月11日(土) 運営委員会

☆8月25日(土) クラフト (相生小学校にて)

●9月8日(土) 運営委員会

☆9月22日(土) 柴刈り大会&いのちの谷整備

★10月8日(月・祝) アサギマダラマーキング

●10月13日(土) 運営委員会

☆10月27日(土) 第14回どんぐり祭り

★10月28日(日) 天百区民まつり参加 (天白公園にて)

★11月10日(土) 高坂PTA生涯学習センター講座  
(午前10:00 相生口集合)

★11月11日(日) 巣箱整備 (午前9:00 集いの広場集合)

●11月11日(日) 運営委員会

☆11月24日(土) 竹林の整備&竹炭用材づくり

★12月8日(日) 餅つき (野浪さん宅にて)  
(午前9:00 JR勝川駅集合)

●12月8日(土) 運営委員会 【注意!】  
餅つき後に現地で開催

☆12月22日(土) 正月準備&梅の剪定

2013年

●1月12日(土) 運営委員会

★1月19日(土) 竹炭焼き (午前7:00～)

☆1月26日(土) ツツジの園再生&しいたけ駒菌打ち

●2月9日(土) 運営委員会

★2月16日(土) 竹炭焼き (午前7:00～)

☆2月23日(土) アカマツ林再生プロジェクト

●3月9日(土) 運営委員会

★3月16日(土) 竹炭焼き (午前7:00～)

☆3月23日(土) 第15回萌木祭り&竹垣整備

# Information

## ●●●● 会員募集中! ●●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ  
00860-7-33725

### 【参加申込み・お問合せなど】

事務局

伊藤 晶子 052-895-8523

中島 己治男 052-803-9534

### 【Eメール】

Mail address :

aioiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

### 【ホームページ】

URL address :

<http://oasisnomori.web.fc2.com/>

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!  
お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!